



東城市街地の活性化へ

えびすで作品展を開催

No.3

市民が中心となってまちづくりを進めるための活動拠点である「東城まちなか交流施設えびす」では、市街地のにぎわい創出・地域活性化を目的に、毎月さまざまな展示が行われています。

4月は、『子育て川柳と子どもの笑顔写真展』が開催され、保護者や祖父母が子どもへの思いを込めた川柳や児童の作った川柳と、子どものほほ笑ましい姿をとらえた写真などが多数展示されました。また、地域の方々による絵手紙の作品展も開催されました。

展示の見学に訪れた人たちは「家族と子どものさまざまな思いを読むことができた」「かわいらしい写真を見ていると思わず笑顔になった」とにこやかに話していました。

同施設では、定期的に展示などを行うほか、東城町内の観光案内も行っています。市民の交流やにぎわい創出を目的としたいろいろなイベントなども行っています。

新型コロナウイルスが収束し、落ち着いて東城のまちなみ散策ができるようになった際には、ぜひお立ち寄りください！



▲子育て川柳と子どもの笑顔写真展



▲絵手紙の作品展

子どもたちの交通安全のために

街頭あいさつ運動・4/6～

No.5

子どもや高齢者をはじめとする歩行者の事故防止や自転車の安全な利用を促すため、4月6日から15日までの10日間、『春の全国交通安全運動』が実施されました。

口和地域においても、小学校近くの交差点で地域ボランティアによるあいさつ運動が行われました。登校中の児童は、これから始まる新学期に向け、やる気と期待に胸を膨らませて元気に登校していました。

ボランティア参加者は「元気いっぱいの子どまとふれあうことで、こちらも元気をもらおう。子どもたちの交通安全のため、今後もこの活動を継続していきたい」と笑顔で話していました。



▲あいさつ運動をする地域ボランティア

今年も見事に咲きました

円正寺のシダレザクラ

No.4

高野町新市にある円正寺の境内には、樹齢約三百年と伝わり、県天然記念物に指定されている2本のシダレザクラの巨木があります。毎年開花の時期には、市内外から多くの方が訪れており、夜にはライトアップも行われ、美しく咲き誇る幻想的な姿を眺めることができます。今年も見事に開花したシダレザクラは、温かい日差しに照らされ、訪れた方々を楽しませていました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、来訪者は例年と比べると随分少なく、伊達崇史住職は「今は何かとつらい時ですが、こんな時こそ当たり前にあるものに注目して過ごしたいもの。来年はまた多くの方に訪れていただきたいですね」と話していました。



▲見頃を迎えたシダレザクラ



「かんぼの郷庄原」の取得判断を延期

「かんぼの郷庄原」の取得については、これまで広報しようばら3月号と4月号で、日本郵政(株)から譲渡の打診を受けた背景や、施設の概要、利用状況、今後10年間で見込まれる改修費・修繕費、各種公共的団体や市民の皆さんからいただいた意見の内容などをお知らせしてきました。

また、この間、商工団体をはじめ、観光団体、地域団体から「かんぼの郷庄原」の取得について、市が取得し施設機能を維持してもらいたい旨の要望書も提出されたところです。

いただいた意見や市民生活・地域経済への影響などを踏まえ、4月中旬に、取得についての判断をすることとしていましたが、新型コロナウイルス

スの全国的な感染拡大や、県内での集団感染の発生、「かんぼの郷庄原」の臨時休館の状況などから、当面の間、取得についての判断を延期します。

なお、取得判断の延期については、日本郵政(株)も了承しており、今後とも協議を継続していくことを確認しています。

市は、新型コロナウイルスの感染拡大防止や、経済的な支援など、市民生活への対応に全力で取り組みとともに、引き続き、情勢を見極めながら、「かんぼの郷庄原」の取得の判断について、検討していきます。

問い合わせ

企画課企画調整係

☎0824-73-1128



合言葉は「まみむめも」

子どもたちの「見守り活動」・4/7～

No.1

西城町内の小・中学校では、4月7日に入学式が行われ、児童生徒の登下校が始まりました。それに合わせて庄原市PTA連合会西城支部は、西城の子どもたちの健やかな育成のために、地域の方々に子どもたちの見守り活動を呼び掛けました。

この活動では、防犯の合言葉「まみむめも」(「ま」窓からちょっと顔を出して、「み」見守ってください子どもたちを 学校の登校・下校時に、「む」無理せず継続して気にかけて、「め」目を行き届かせて 安心・安全な西城を目指して、「も」もしかしてがある世の中だから)をもとに、子どもたちの登下校の見守りが行われます。

原木しいたけ栽培を体験

しいたけ植菌・3/10

No.2

3月2日から小学校が臨時休業になったことを受け、放課後子供教室では児童が楽しめるイベントを取り入れながら、工夫をして過ごしていました。

この日は、総領自治振興センターで放課後子供教室の児童10人がしいたけ植菌に挑戦。児童は穴が開けられた原木に、しいたけの種をかなづちで丁寧に打ち込みました。

総領自治振興区の中田博章事務局長は「児童が上手に作業を進めてくれたのであつという間に終わった。たくさんのしいたけが生えてくるのを楽しみにしている」と話していました。しいたけは来年の10月ごろに収穫できる予定です。



▲種を丁寧に打ち込む児童



▲見守り活動と元気に登校する児童